

### サロンでの気づき

サロンを訪問させて頂き、気づいたこと、聞いたことなど、お伝えしたいと思います。何かお役に立てれば嬉しいです。

ついこの間まで猛暑、猛暑と騒いでいたのに、急に涼しくなりましたね。

雲一つない青空がとても気持ち良い、今が一番過ごしやすい季節ですね。

第3日曜日、マツダスタジアムへ巨人戦を見に行きました。今年6度目の観戦です。投げてはマエケン、打線も活発で10-0の大勝でした(今季私の観戦した試合は6連勝です)。油断は禁物ですが、念願のCS(クライマックスシリーズ)にあと一步のところまでできました。この調子で勝ち進み、2位になって地元でCSができれば最高です。



もう一つ、嬉しい出来事といえば、オリンピックの開催地がTOKYOに決まりましたね。

IOC委員の心を掴むには、プレゼンのテクニック、英語力などはもちろん大切ですが、一番は熱意(PASSION)が心を動かすと言っていました。

一人々々が熱意を持ち、オールジャパンで一丸となり臨んだ結果だと思えます。

一人の力は小さいかもしれませんが一丸となって臨めば大きな力を生むのだと思います。



※【一丸】いちがん:心をつににしたひとかたまり。(大辞泉より)

先日新人営業から「得意先の先生に『君はもう来なくていいよ』と言われた。」と電話が入り、出張先から急遽広島に戻ってることがありました。

怒られた原因は、サロン様の引き扉を開けて荷物を両手に持って入ろうとした時、扉が閉まりそうになったのを足で止めたことです。

つい足が出たのだと思いますが、サロン様の大切な扉を足で扱うことはあってはならないことです。

最後のお客様が終えられるのを新人と二人でお店の外で待っていたところ、先生が出てこられ、新人の肩を抱いて『頑張れよ』と笑顔で暖かい言葉をかけて下さいました。当社のこと、新人のことを大切に思ってくれているからこそ怒ったのだと思います。

その時施術していたお客様から『先生、今は、悪いことをしても叱ってくれる人がいなくなったから。あの営業の方のためには良いことをされたんじゃないですか。あとは本人がこの経験を活かしてくれたらいいですね。』と言われたそうです。

今サロンで幹部になっておられるスタッフの方が若い頃にも、先生はこれと思う大事な時には厳しく叱ってきたそうです。『その時何かに気づいてくれて、成長していると思います。この経験を今後活かしてくれたら』と言われました。

新人も先生の厳しさと温かさに触れ、『ここまで自分のことを想って、叱ってくれた人はいなかった。』と言っていました。

新人に先生の愛情が伝わったのだと思います。『先生の思いを無駄にしないで頑張る』と言っていました。



月刊『致知』10月号のテーマが『一言(いちげん)よく人を生かす』でした。

一言よく人を殺すとも言うそうです。心を揺さぶられ、魂を燃やす言葉の及ぼす力は大きい。

致知10月号の掲載記事から紹介させていただきます。

女優の山本富士子さんが亡き夫から頂いたバースデーカードに書かれていた詩です。



※裏面に続く

~~~~~

## 砂時計の詩

一トンの砂が、時を刻む砂時計があるそうです。  
その砂が、音もなく巨大な容器に積もっていくさまを  
見ていると

時は過ぎ去るものではなく  
心のうちに からだのうちに積みゆくもの  
と、いうことを、実感させられるそうです。  
時は過ぎ去るものではなく  
心のうちに からだのうちに積みゆくもの  
~~~~~

私はこの言葉に出会うまでは、時は  
過ぎ去るものと考えていました。

こうして牛尾さんとお話ししている時も  
もちろん刻々と過ぎていきます。

だからこそこの 瞬 瞬を大切に、

一日一日を大切に、いい刻を自分の  
心や体の中に積もらせていくことが大事で、それがやが  
て豊かな心やいい人生を紡いでいってくれる。そう受け  
とめて、一日一日を精いっぱい生きる、きょう一日を精  
いっぱい生きることの大切さを改めて実感させられまし  
た。とても感動したものですから小さな紙に書いて、お  
財布に入れていつも持ち歩いているんです。

(山本富士子さんと牛尾治郎さんの対談記事より)

もう一つは、特攻の母・鳥濱トメさんが遺した言葉から

～使命とは、命を使うと書きます。

隊員さんたちはお役に立ちたい  
という思いで、或いは後の世の  
幸福を願って、自分の命を使わ  
れた。



では、豊かな時代をいただいている私たちは、自らの命  
を何に使っているのでしょうか。いまは「できないことをでき  
るように努力なさい」ということが教育の根底にありま  
すがトメの言い方はそうではありません。「いまあなたに  
できることはなんですか?それを積み重ねていきなさい」  
私がこの目で見えてきたトメは、まさに自分にできることを  
精いっぱい、人のために捧げる生き方を貫いた人だっ  
たと思います。～～



～～平和記念館などに飾られている十代後半から二十  
代前半の彼らの顔写真を拝見すると、実に立派で、清  
々しく輝いた眼をしていらっしやる。それはやはり、彼ら  
の中にぶれない軸が一本通っていたからなのだと思います。  
トメは平和の語り部として語る時、いつもこう言っ  
ていました。「私は多くの命を見送った。引き留めること  
も、慰めることもできなくて、ただただあの子らの魂の平  
安を願うことしかできなかった。だから、生きていつてほ  
しい。命が大切だ」されど、書き残した物の中には「善き  
ことのみを念ぜよ。必ず善きことくる。命よりも大切なもの  
がある。それは徳を貫くこと」とも記されています。この  
言葉を見るにつけ、後の世の幸福を願って命を賭した  
隊員さんたちの姿が思い起こされてなりません。～～  
(特攻の母・鳥濱トメさんが遺した言葉より)

『いまあなたにできることはなんですか?それを積み重  
ねていきなさい』私はこの言葉を読み、サロン様におい  
ては、カルテ管理を面倒臭がらないで積み重ねていく  
ことが大切だと思いました。

## 今月のおすすめ本



永遠のゼロ

人気作家 百田尚樹氏が著した  
ゼロ戦パイロットの物語です。  
ただ今読書中です。

## ペンタックスカメラWG-10



サロンの先生に教えて頂いたデジ  
タルカメラなのですが、ペンタックスだけ  
のデジタル顕微鏡モード(レンズの周  
りのLEDランプが光ります)という機能  
で、頭皮の写真が綺麗に撮れ、マイ  
クロスコープの換わりになります。  
15,000円とお値段も手頃です。